

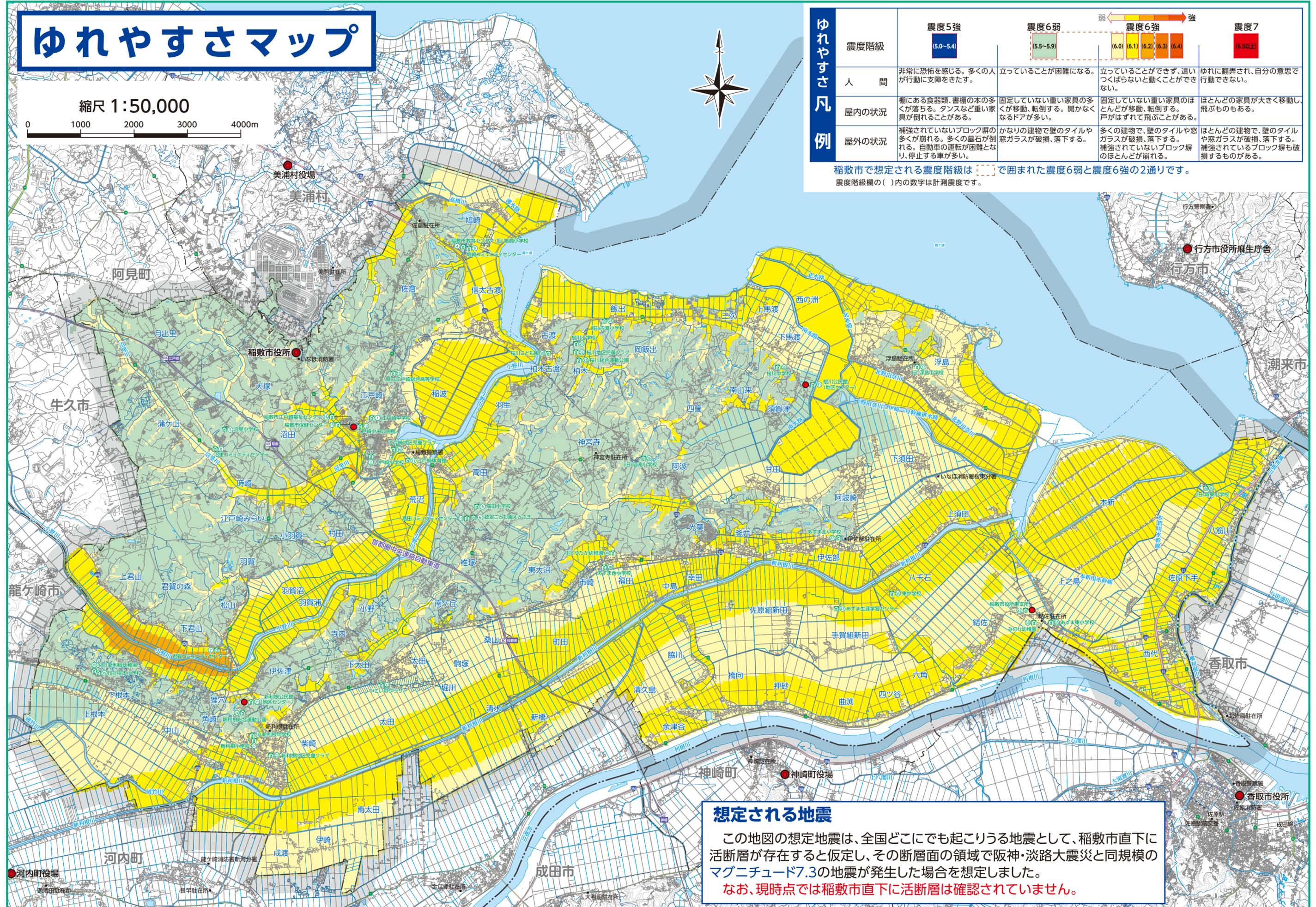
ゆれやすさマップ

縮尺 1:50,000



ゆれやすさ凡例	震度			
	震度5強 (5.0~5.4)	震度6弱 (5.5~5.9)	震度6強 (6.0, (6.1), (6.2), (6.3), (6.4))	震度7 (6.5以上)
人間	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障をきたす。	立っていることが困難になる。	立っていることができず、這いつくばらないと動くことができない。	ゆれに翻弄され、自分の意思で行動できない。
屋内の状況	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かないドアが多い。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
屋外の状況	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

稲敷市で想定される震度階級は、**黄色**で囲まれた震度6弱と震度6強の2通りです。
震度階級欄の()内の数字は計測震度です。



想定される地震

この地図の想定地震は、全国どこにでも起こりうる地震として、稲敷市直下に活断層が存在すると仮定し、その断層面の領域で阪神・淡路大震災と同規模のマグニチュード7.3の地震が発生した場合を想定しました。
なお、現時点では稲敷市直下に活断層は確認されていません。